



高志台

学園だより

高志台（こうしだい）

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに”（越の国・古志の国・高志の国）と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台（こうしだい）」
と命名しました。

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台（卒業生）	05-09
さよなら高志台（専攻科修了生）	10-11
さよなら高志台（留学生）	12-13
さよなら高志台（退職する教職員）	14
PICK UP 2020 TOPICS	14-15
卒業生・修了生表彰・進路状況	16



独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉



旅立ちに向けて

校長 原田 信弘

長岡工業高等専門学校の卒業式・修了式を迎え、特に今年度は当初から世界的な新型コロナウイルス感染拡大の時期にあたり、普段の生活の不自由さや多くの学校行事の中止を余儀なくされ、いろ

んな制限を受ける中で遠隔授業や対面授業、課題やレポートをこなしながら卒業研究や特別研究を完了させるなど、大変な苦勞を乗り越え、これから進学あるいは社会に羽ばたいていく皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

今日日本の高専は、非常に高い評価を受けていますし、タイやベトナム、モンゴル等で日本式高専の教育システムがスタートし、「KOSEN」が国際的にも認知されてきています。特徴的なことは、中学卒業後の早期から実践的な工学技術教育を行い、さらに課題解決能力などを実際に経験できるカリキュラムがあるということです。単に手が動かせてものづくりができるワーカーではなく、実践力にプラスして工学技術の基礎力を身に付け、応用することができる教育システムを採用していることだと思います。

皆さんは、長岡高専で勉学、研究や課外活動などに励みながら「人類の未来をきりひらく感性豊かで実践力のある創造的技術者」としての一般教養や語学、工学の基礎を身に付けられました。さらに、地元企業や地域貢献としてのインターンシップやさらに国際的な活動としてのJICAプロジェクトなど、身に付けた基礎力の応用として社会の様々な課題解決にも取り組んで成果を上げてこられたものと思います。まさしく我々高専が目指す「ソーシャルドクター」（社会のお医者さん）の素養を身に付けてると確信しています。さらに長岡高専は、グローバルエンジニア育成プログラムも低学年から高学年まで充実した内容で実施しており、皆さんは国際的な舞台でも十分に活躍できる実践力のある創造的技術者の一員として巣立っていかれると期待しています。

新型コロナウイルスの感染拡大やその結果としての経済活動の低迷、また将来的には気候変動や廃プラスチックなどの環境問題、エネルギー問題、食料問題など、我々を取り巻く世界には様々な困難な課題があります。進学する皆さんは創造的技術者としての工学基礎力をさらにレベルアップしてこれらの課題に立ち向かい、また社会に巣立つ皆さんは、それぞれの就職先で日々の活動の中でもこれらの課題を頭に置いて立ち向かい、そして課題を解決し、人類の幸福と発展に寄与してくれることを大いに期待してい

ます。小さな事からでも構いませんから、常に新しいものを作り出すこと、また新しいことにチャレンジする精神を忘れないようにしてください。

皆さんもわかっているように、現代では科学技術の進歩や産業構造の変化が非常に速くなっています。携帯電話が普及したのも、それらがスマートフォンに置き換わったのも、それぞれ10年かかっていないのではないかと思います。産業も一次産業から、流れ作業やオートメーションを取り入れた製造業・重工業になり、さらにサービス産業に中心が変わって行き、これからはIoT、AIとかRobot TechnologyさらにDX（Digital Transformation）など情報やネットワークを駆使したビジネスに移行していくものと考えられています。

このように10年以内というスパンで科学技術や産業構造に変化が起こるということは、皆さんが今まで身に付けた科学技術の基礎力のままでは対応しきれない場面が出てくると考えられます。例えば、20年後を考えてみると皆さんは、それぞれの企業や所属機関を背負って働く第一線の技術者になっているでしょう。日本の産業を背負っている世代になっているといっても過言ではありません。しかしながらその時には、多分今のビジネスががらっと変わっているかもしれません。社会に出て常により新しい科学技術の動向に目を向け、自ら勉強して自分自身の技術者としてのレベルの向上に努めてください。必要であれば本校を訪ねてみてください。我々は常に科学技術の最先端を意識しながら、高専から輩出する人材への産業界からの要望に常に応えられるように、カリキュラムやAIR Tech、PRELAB、JSCOOPなどのプログラムやその他の教育システムをブラッシュアップします。さらに、いわゆるリカレント教育として、巣立っていった卒業生・修了生も必要なら学び直す教育システムも取り入れ、生涯学習の手伝いができるようにと思っています。

最後になりますが、ここに卒業・修了を迎えることができるのは、第一に皆さんの日ごろの研鑽・勉強・実践を積み重ねて来られた結果でありますが、それを支えていただいた保護者やご家族、共に過ごした友人、先輩や後輩、さらに諸先生方の力も計り知れません。感謝の気持ちを忘れないようにお願いします。また、何か困難にぶつかったとき、本校教職員はいつでも全力でサポートしますので、いつでも相談に戻って来てください。

皆さんの今後益々のご活躍とご健勝を心から祈念して、旅立ちに向けた言葉と致します。



自分を信じて、 夢の実現へ

後援会長 佐藤 宏

卒業生・修了生の皆様、卒業・修了おめでとうございます。また、今まで学生を支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝い申し上げます。そして、原田校長先生を始め教職員の皆様には、学生へ心のこもった温かいご指導をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

皆さんが最初に高志台に足を踏み入れた時、自由な校風を肌で感じ、これからの学校生活への期待に大きく胸を膨らませていたことと思います。それから歳月が経ち、いよいよ高志台を旅立つ時を迎えました。今、様々な思いが込み上げてきていると思いますが、長岡高専で培った技術、専門知識、熱意を胸に、自信を持って世界へ羽ばたいて行ってください。

長岡高専が立つ高志台は、「学生諸君が常に高邁な志を堅持されること」を祈って学校設立当時の学生や教職員から公募されて名付けられました。皆さんは、先輩方の祈りが込められたこの地で、高い志を持って勉学に励み、仲間との絆を育み、大きな成長を遂げられました。これから皆

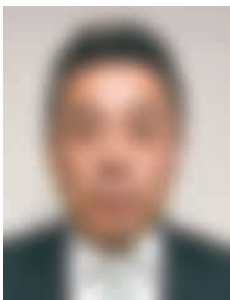
さんは、世界へ羽ばたいて行き、人類の未来をきりひろく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者として活躍されることでしょう。

AI（人工知能）の権威である、東京大学の松尾豊教授は、「高専生は日本の宝」と断言します。「高専出身者は、とにかく手が動く。とにかくやってみて、結果を私のところに持ってくる。プロジェクトのリーダーとしてもふさわしい。こんな人材が毎年1万人も輩出していることはすごいことだ。高専生は『自分たちがすごいところにいる』と認識してほしい。」と日経新聞のインタビューで語っています。

また、長岡高専の客員教授でもあり、卒業生でもある株式会社フラー代表取締役会長の渋谷修太さんは、後援会主催の進路ガイダンスで、皆さんへ「一度きりの人生、馬鹿みたいに夢を追いかけて生きていいんだよと伝えたい。かつて、当たり前を進路を選ばなかった。だから、次も自分らしく。好奇心に従って進路を決めてほしい」とのメッセージを残されました。

皆さんの目の前には、明るい未来が、そして大きな可能性が広がっています。ぜひ、自分の力を強く信じて、自分の夢の実現に向かって邁進してください。

最後になりましたが、後援会活動へのご理解と多大なるご協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げます。



逆境を乗り越える 力を付けよ！

同窓会長 古田島 智裕

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。

節目である今年度、皆さんは新型コロナウイルスによって今までとは違う一年を過ごさざるを得ない状況となりました。影響を受けたのはもちろん皆さんだけではなく、高志台で過ごす最終年として楽しみとしていたいろいろなイベントが中止になったことでしょう。進学や就職の準備に様々な支障が出たことでしょう。しかし、それらを乗り越えて今日を迎えられたことに感謝し、コロナ禍での経験を今後に生かすことを考えてください。

コロナウイルスの対応により、社会はウィズコロナという生活の仕方を余儀なくされています。学校には、オンライン授業のみで登校が出来ないところもあります。会社も同様、テレワークが主流となり出社に及ばずという会社があります。出張や会議もWeb会議に替わっています。新しいやり方が模索されている今、今までとは違う挑

戦への機会が広がるのではないのでしょうか。

テレワークが社会的に認知されたことにより、地元に残りたい人が県外の企業に就職出来る、または就職後にUターンできるチャンスが生まれます。私の自宅の近所にも、東京のIT企業に勤めていますが在宅勤務をしている人がいます。チャレンジできる分野が広がることになります。

また、良好なコミュニケーションを図るためにはFace To Faceと言いますが、Web会議でもより良好なコミュニケーションが取れるようなシステム・環境、工夫も望まれます。他の様々なことにも、チャレンジのチャンスが広がっていると思います。長岡高専で得た知識と経験を、コロナ禍の逆境、ピンチをチャンスに変えることに生かしてくれることを期待しています。

最後に、卒業、修了に伴い新しい環境に移る人がほとんどだと思いますが、直接顔を合わせたコミュニケーションが取れないことにより、かなりのストレスがあると思います。決して一人で悩まず、知人・友人、家族、先生、上司・先輩を頼って、相談してください。

同窓会も微力ながら応援が出来るようにしたいと思えます。

健康が一番です。まずは自分の体を大切に、そして社会に貢献し自分を輝かせましょう。ご安全に！

さよなら高志台 思い出のアルバム

2016-2020



2016.4.5 入学式

本科1年生206名、3・4年編入生10名、専攻科生35名、総勢251名が新たに本校の一員に加わりました。



2016.5.20 遠足



2017.11.29～12.4 後期中間試験



2018.9.27 3学年工場見学



2019.9.25～28 4学年見学旅行

2016

- 1月 大相撲初場所で琴奨菊が日本人力士として10年ぶりの優勝
- 3月 北海道新幹線開業
- 5月 伊勢志摩サミット
- 8月 リオデジャネイロオリンピックで過去最高の41個のメダルを獲得
- 10月 大隅良典氏にノーベル医学生理学賞

2017

- 1月 アメリカ大統領にトランプ氏が就任
- 2月 プレミアムフライデー初実施
- 4月 世界フィギュアで羽生が世界最高得点で優勝
フィギュア女子の浅田真央が引退
- 6月 天皇退位特例法が成立
上野動物園でパンダ誕生
14歳棋士の藤井4段が29連勝の新記録
- 10月 衆議院選で自民が圧勝し、立憲民主が野党第1党に

2018

- 11月 TPPが米国抜きで大筋合意
- 1月 築地市場最後の初競り
箱根駅伝で青学大4連覇
- 2月 平昌五輪でスピードスケート女子の小平、高木菜らが金メダル
- 6月 史上初の米朝首脳会談
- 7月 サッカーW杯で日本16強
- 9月 北海道地震
自民総裁選で安倍首相が3選
- 10月 本庶佑氏にノーベル医学生理学賞

2019

- 1月 大坂、全豪テニス初制覇
- 3月 イチロー引退、日米通算4367安打
- 5月 「令和」に改元
- 7月 はやぶさ2「りゅうぐう」に2回目着陸
- 10月 消費税10%スタート
吉野彰氏にノーベル化学賞
ラグビーW杯で日本代表8強入り
首里城火災

2020

- 1月 英国がEU離脱
- 4月 新型コロナで国内緊急事態宣言、政府が布マスク配布、国民に一律10万円
- 6月 黒人差別の抗議、世界に拡大
- 7月 「Go To トラベル」キャンペーン開始
- 8月 甲子園高校野球交流試合
- 9月 菅内閣が発足
- 11月 米大統領選、バイデン氏勝利確定
- 12月 はやぶさ2のカプセル回収



2016.4.7～8 1学年合宿研修



2017.10.11 体育祭



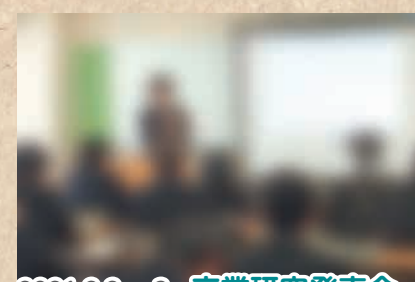
2018.1.17～19 2学年スキー研修



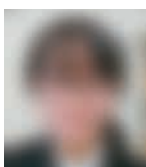
2018.11.3～4 学園祭「年末祭」



2019.12.17 文化祭「紡年会」



2021.2.2～3 卒業研究発表会



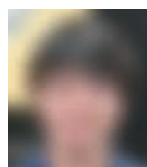
卒業450字自由形 杉本 紗葉

入学前の私が理系の学校と聞いて想像していたよりは、文章を書く機会が多くありました。書くことは好きなのでさして思い悩むことなく、レポートや文芸部の作品を自由に書けて非常に楽しかったです。嘘です。見栄張りしました。普通に苦しかったです。

ともあれ一番好き勝手書かせていただいたのは、間違いなく昨年の学科演劇の脚本です。高専を爆破するという不道徳極まりない話だったのですが、人生で一番褒められました。高専に何の恨みがあるんですか皆さん。協力していただいた演劇関係者や物理の先生には本当に頭が上がりません。この場で厚く御礼申し上げます。

そして何の因果か、今もこうして学園だよりの文章を書かせていただいております。ありがたい話です。散々好きなことを書いてきましたが、おそらくこれが最後になるでしょう。今までたくさん書かせていただきありがとうございました。在校生のみなさん、良い高専生活を。

あっ、卒論書き終わってねえ。

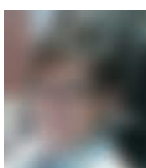


感謝 関 武

5年前、入学当時は遙か先のように感じた卒業でしたが、目前に控えるとあっという間だったなと感じています。この度、この原稿執筆を引き受けるに当たり、何を書こうかと考えると、まず頭に浮かんだのは感謝でした。5年間、様々な知識を私たちに授けてくださった先生方、苦楽を共にし、競い合った学友たちはもちろん、温かく見守ってくれた両親、後援会の皆様、インターンシップや工場見学でお世話になった企業の方々等、本当に驚くほどたくさんの方々に支えられ、それらがあったからこそ成し遂げられた5年間であり、感謝の念に堪えません。

来年度からは就職し社会人となります。正直なところ、今までに経験のない全く未知の世界へと進むのはとても怖いし、今は不安でいっぱいです。しかしそれでも前を向き、これから頑張ろうと思えるのは、この5年間でたくさんの方々からもらった知識や経験、温かい心が自分を勇気づけてくれているからだと思います。

最後になりますが、この場をお借りしてこの5年間支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。5年間本当にありがとうございました。

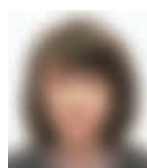


ご卒業おめでとうございます。 3～5学年クラス担任 金子 健正

高専生活を通して人間的に成長し、皆さん随分と大人びたように思います。3年次の工場見学で遅刻者多数など不安が多かったですが、インターンシップや研修旅行を終えたころから顔つきが変わったようです。ほとんどの学生が自分の意志で進路を選択していた様子がとても心強く感じました。自らの興味関心に向かって邁進してほしいと思います。

中学校卒業で、高専に進学する中学生の割合は全国で1%。SSR排出確率よりも低いようです。そんなSSRな皆さんが長岡高専で培い、何かに全振りしたステータスは、きっと立派な個性として輝くことでしょう。高専卒というスキルを持った皆さんは、社会では思った以上に期待される機会も多いと思います。ぜひ、長岡高専卒を自信と誇りにがんばってください。これまでの諸先輩方に負けぬよう、更なる活躍を期待しています。

文章を書いている途中で、昔読んだ漫画から「インベタのさらにイン」という名言を思い出しました。時に少し無茶をすると、人生が豊かになるのかもしれませんが。

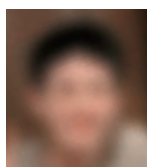


新たなスタートに向けて 2学年クラス担任 堀口 真利子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。担任2年目、学科別クラスの担任では初めてのことで、当初は肩に力が入っていたことを覚えています。4月、クラスの各委員決めに時間がかかり、先の不安を感じましたが、遠足の炊事コンテストではパンケーキ、学園祭ではクラス企画「バジリスク＝ホリグチ」（どういう意味なのか本気で考えました）と、気付けば自分達で企画を纏めてくれていました。やるときはやるんですよ、という言葉通り、個性溢れる面々がいつの間にかM2を育ててくれていました。1年間はあっという間でしたが、今振り返って一番に思い出すのは一人一人の笑顔です。温かくいいクラスでした。その後もそれぞれに自分の人生をたくましく切り拓いている姿を見ると、嬉しく、多くの元気をもらうことができました。

あらゆることが停止し延長された2020年。そのなかでの卒業研究に戸惑いや苦難もあったと思います。困難をともに乗り越え、喜びを分かち合った仲間を大切に、これから社会で遭遇するであろう各々の課題に取り組み続けてほしいと願っています。





様々なことがあった5年間 稲葉 悠人

私は飽き性で一つのことを最後までやり遂げることが苦手なため、1年生のときは5年間も同じ学校でやっていけるか不安もありました。ですが、恐ろしいことに実験レポートや定期テストに追い詰められたことによってあつという間に5年間で過ぎていきました。

そんなあつという間だった5年間でも楽しかったことも多かったです。未工祭では友達と一緒に露店を出店しました。5年生の前期ではコロナ禍の影響で一緒に過ごすことができませんでしたが、授業の合間やお昼の休憩時間に騒いだことも楽しかったです。ほかに、辛い物が苦手なのに調子に乗って食べまくった結果、最後の4日間入院してクアラルンプールを観光できなかったマレーシアへの海外派遣研修など、とても大切な思い出です。

この5年間多くの実験、研究など高専でしか出来ないことを経験できたこと、その機会をいただけたことにとても感謝しています。それと同時に授業を教えてくださった先生方、実験をサポートしてくださった技術職員の方々のおかげでここまで来ることが出来ました。

5年間ありがとうございました。



魂の場所 山之内 幹

先日、小学校4年生の時の担任の先生から、10年前の自分が10年後の自分に書いた手紙が届きました。そこには「長おか高専には入れましたか」とありました。つまり自分は10年も前から長岡高専に来たかったということになります。パカですね。

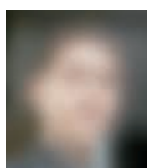
ですがそんな自分が高専での5年間で過ごした感想は「マジで入ってよかった」、これに尽きます。

理由は色々ありますが一番大きかったのはやはり「何事も基本自由、ただし自己責任で」という高専のスタンスと自分の価値観が見事に噛み合っていたことでしょうか。

勿論5年間も居れば嫌な事、苦勞した事も沢山ありましたが、不思議なことにその殆どが自分の成長の糧に出来るようなものばかりでした。何から何まで、自分と高専は相性がよかったということなのでしょう。

自分にとって長岡高専はまさに、自分らしく日々を過ごせる「魂の場所」と言えるところでした。

最後に……無事卒業できれば専攻科へ進学予定なので、あと2年ほどお世話になります。よろしくお願いします。



今時の若いもんは 5学年クラス担任 矢野 昌平

「今時の若いもんは…」この言葉が、約4000年前の古代エジプト古跡発掘において発見された手録に書かれていたという。昨年から続くコロナ禍で、色々なことが大きく変わりました。遠隔授業、部活の制限、海外研修や人が集まるイベントは中止、マスクや手洗いとソーシャルディスタンスで感染症予防に気を付けた生活。これじゃあ社会に出たら、「ゆとり」で「コロナ」世代、どうして自分たちの時代なの？ もっと希望と夢のあふれる時代になってほしかったと思うかもしれない。しかし、古代エジプトの若者も、インターネットが普及しAIで自動車が自動運転する今の時代の若者も、結局は同じことを言われ、同じく不安と希望を持って旅立って行ったのだろう。結局人は4000年間同じことを言われ続けたいいけないらしい。だから私は、皆さんに4000年前と同じ言葉を贈ります。「ちゃんと勉強しろ、先輩を敬え、さもないとロクな人生にならんぞ」、あと「卒業おめでとう。良い人生を。」



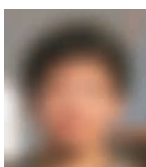
卒業おめでとう 2学年クラス担任 田原 喜宏

電気電子システム工学科の皆さん、卒業おめでとうございます。私にとっては混合学級となってから初めての担任で、少し戸惑うこともありましたが、皆さんはどうだったでしょうか。2年生の頃はまだまだ幼い印象が残っており、正直手を焼かされた印象もありました。(笑)それでも、色々な事に一所懸命取り組みながら日々皆さんが奮闘しつつ過ごしたのを覚えていてます。

そして4年の見学旅行に同行したときはかなり雰囲気が変わり、僅か1年半で随分と大人になるものだ、と感心したのを思い出します。その後には担任であった長部先生が急逝されるという、皆さんにとってはショックな出来事もありました。また、5年生になってからはコロナ禍という未曾有の危機の中で入試や就職活動などを続け、大変な苦勞をされたと思います。しかしながら、困難を乗り越え、皆さんが自身の進路を考え、進学、就職といったそれぞれの道を進んでいく事を見届けられるのは、教員にとっての一番の喜びです。

今後の皆さんの益々の活躍を祈っています。



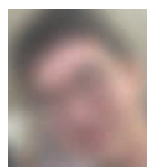


この素晴らしき高専 小根澤 瞭太

この5年間、ひたすら好きなことをやってきた。1年次にはロボコンに取り組み、2年次ではその年に発表されたRyzen第一世代でパソコンを組んだ。3・4年次にはバイクでツーリング、車でドライブを楽しんだ。そして今は内定先の企業でサーバーの勉強をさせて貰っている。

こんな生活ができたのも高専に来たおかげだ。興味ある分野の学科に入ったことにより、自分の好きなことや趣味で学んだことを勉強に活かすことができ、さらに趣味の時間が生まれた。ハマれば強い良い学校だったと思う。しかし興味のない科目はあまり頑張らなかったのも、担当の先生方には申し訳ないと思っている（ごめんなさい）。

春からは社会に出て働くが、非常に楽しい5年間を過ごすことができた（もう一回くらい学生会行事の遠足はしたかった）。最後に、共に5年間を過ごした友人たち、導いてくださった教職員の皆様、ありがとうございました。

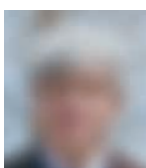


かけがえのないもの 柄澤 幸太郎

思えばこの5年間いいことばかりとは言えませんでした。それでも総じて楽しかったと私は思っています。1年生の数理演習に始まり、今現在も卒業研究に苦しみながらこの文章を書いています。それでもこの学校生活を嫌だとは少しも思いません。それらの間々には仲間との楽しいことがあったからです。

目を閉じるとまるで昨日の事のように様々な出来事が思い出せます。寮の風呂掃除のあとの追いかけっこ、遠足で作ったホットドッグもどき、部屋がすし詰めだったスキー合宿、クラスで色々なところを周った見学旅行。これからの人生でこういった体験がもう出来ないと思うと高志台に別れを告げる事への寂しさがこみ上げてきます。それだけここでの出会いは私にとってかけがえのないものとなりました。

単位の危機と退寮の危機から救ってくれた小根澤君、毎日押しかけてもいつも優しく話してくれる市村先生、崩れかけても見捨てないでくれた拓史先生、共に苦難を乗り越えてきたクラスメイト、そして長岡高専での全ての出会いに感謝しています。



卒業おめでとう！ 3～5学年クラス担任 佐藤 拓史

皆さん卒業おめでとうございます。2度目のクラス担任を引き受けて3年が経とうとしています。思い返せばこの3年間いろいろなことがありました。

3年次では、学生会行事への参加は欠席や早退が目立ち、卒業後は大学進学を考えている割にズバ抜けて成績が良い学生もいなくて「大丈夫か？」とってしまうほどでした。ところが4年次になると進路を真剣に考え始める学生も現れ、クラス全体の雰囲気も良くなってきたと思っています。併せて学生会行事への参加率も良好で、クラス担任としては誇らしかったです。5年次では新型コロナウイルス感染症の蔓延により、前期は完全遠隔授業を強いられ、学生会行事の軒並み中止、大学編入試験の延期や対応変更・就活は非常に大変だったのではないのでしょうか。最終的には34人クラスで進学31名、就職3名（進学率9割越え）、クラス全員の進路が確定できたことは非常に嬉しい出来事でした。

卒業後は新たな環境に身を投じることになりますが、皆さんの益々の活躍を祈っています。



君達に贈る言葉は、「自利利他」 2学年クラス担任 市村 勝己

卒業おめでとう。私は今年で高専勤務8年目ですが、1年生の時の混合学級を含め、君達が初めて担任を持ったクラスです。不慣れだったので、どのように君達と接したらよいのか暗中模索、試行錯誤、五里霧中、右往左往といった四字熟語のオンパレードでした。君達を教え導くというよりも、担任を通じ君達から教わったことが沢山ありました。ありがとう。

担任として、そして君達よりも35年ほど人生の先を歩んできた本校卒業生の先輩として、タイトルの四字熟語、「自利利他」を君達に贈りたいと思います。自利トハ利他ヲイフ。この言葉に出会ったのは、私にとって人生2度目の転機となった、約20年間に亘り勤めてきた前の会社を家庭の都合で自己都合退職した時です。同じ本校卒の妻が税理士試験に合格し、会計ソフト会社のセミナーに夫婦一緒に参加した時、その会社の経営理念でもある、この言葉に出会いました。生きがいとは、人の為に生きること。自分が生かされていることだと気づかされました。君達も自利利他の精神で素晴らしい人生をこの先歩み続けてください。



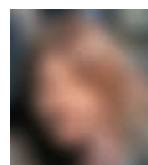


それぞれの生き方・考え方 田中 健大

早いもので長岡高専に入学してから5年という月日が経とうとしています。書きたいことは多くありますが、ここではこの5年間で僕が得た最も価値のあるものについて書きたいと思います。

僕の中学校は全校生徒が70人ほどしかいなかったため、限られた人としか接することができませんでした。しかし長岡高専に入学すると、中学校の頃の10倍以上もの人が多くの地域から集まります。そのため、中学校の頃とは比較にならないほど多くの人と接し、多くの考え方・人生観に触れることができました。将来の目標に向かって頑張る人、今を精一杯楽しもうとする人、今の自分の生き方に悩む人…。この多種多様な人の考え方・人生観に触れていく中で、僕は「人の生き方には正解の生き方・考え方はなく、自由に生きてよい」ということを学びました。そして、これが僕のこの5年間で得た最も価値のあるものだと思っています。

最後にこの5年間で充実したものにしてくれた友達、先生、関係者の方々、そして家族に感謝を申し上げます。5年間本当にありがとうございました。



出会い 土田 紗綺

入学してから5年が経ち、私も20歳になりました。長いようで短い5年間でしたが、様々な出会いがありました。演技派の国語の先生、壊滅的に絵心がない英語の先生、おやじギャグが面白い物理の先生、テニス部のふわふわかわいい女の子たち、海外派遣先でできた外国人の友達、トランプ仲間、全力でギャグをしてくれるかわいい女の子、周期表を暗記している天才、麻雀好きな先輩とニコニコ先輩、ド天然な先輩がいたパンクロックな研究室…そんな個性豊かな人たちとの出会いは私にとってかけがえのない宝物です。

山積みのレポートにテスト、部活動、アルバイトに学生会行事などが重なり、辛く苦しい日もたくさんあったと思います。しかし、今思いつくのは楽しく大笑いした記憶ばかりです。この記憶とこれからの出会いを大切に日々成長していきたいと思っています。

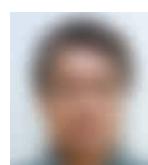
最後に、家族や友人、先生方をはじめ、私に関わってくださったすべての方に感謝します。専攻科の2年間で恩返しできるように頑張ります。



卒業おめでとう 3～5学年クラス担任 田崎 裕二

「良いクラス」という太鼓判を2年次の担任の先生よりもらって担任になり、あっという間に3年間で過ぎようとしています。前評判どおり、学業をはじめ、クラスマッチや学園祭でもクラスで団結して取り組む姿にとっても感心しました。化学インターハイ、海外研修、プレラボなどにもチャレンジし、表彰もされ、とても誇らしい気持ちになりました。5年次には学業や進路に悩みながら、困難に立ち向かう姿に感激しました。進路指導が難しい状況でしたが、合格・内定の報告を受けた時のうれしさは今も良く憶えています。この3年間で着実に成長した皆さんを今はより頼もしく思うとともに、その成長を間近で見られたことに幸せを感じます。

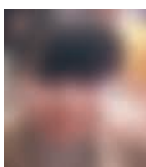
4月から新たな生活が始まります。不安はあると思いますが、皆さんなら大丈夫です。自分が選択した場所でこれまでと同様に、学ぶことを続け、仲間と団結し、勇気を出してチャレンジし、そして困難を克服してください。今後、皆さんがそれぞれの場で「良いチーム」を作り活躍すること祈っています。素敵な未来が皆さんを待っていますよ。



卒業おめでとう 2学年クラス担任 鈴木 寛

2年生になってすぐ、集合写真を撮った時のことを良く憶えています。「もっとくっついて」と言っても、中々、人と人との距離が縮まりませんでした。まるでコロナ禍での集合写真を先取りしたかのようでした。2年生でクラスが変わる混合学級が始まって以降では、はじめて受け持つ学科別クラスだったので、その距離感がとても新鮮でした。その距離が、勉強や行事を通じ、だんだんと縮まっていくのをうれしく思っていました。もう一つ記憶によく残っているのは、よく勉強する子たちだということです。専門とは異なる私の科目(倫理)も、本当によく勉強してくれました。「学校は勉強するところ」という基本がよく分かっている子たちだ、いつも感心していました。それから3年が経ちました。より濃い人間関係とより深い学問的知識が、みなさんのなかに形成されているのではないのでしょうか。そうした経験や知識を生かし、みなさんには社会の幸せを生み出せるような人になってもらいたいと思っています。それがみなさん自身の幸せにもなるはずですよ。ご卒業おめでとうございます。



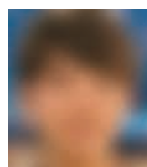


光射す
関根 美乃里

不安と期待が入り混じった1年生の頃を昨日のこのように感じます。学園だよりの執筆をすることになって5年間を振り返ってみたのですが、必死にレポートに食らいついたりテスト前は唸っていたり懸命に高専生活に励んだことも今思えば懐かしいです。多少燻っていた私でしたが、卒業研究も楽しかったですし、クラブ活動の一環で海外にも行けました。周りの環境、支えがあつてのことです。感謝してもしきれません。笑いあり涙ありの実りある5年間でした。

昨年は、本当に前例のない事が起こりました。マスクが義務付けられたり人との交流も制限される中で勉強をクラスメイトと教えあったりイベントで交流を深めたり、学校で過ごす時間は決して当たり前ではなくかけがえのない財産だったということを思い知らされた気がします。

悪いことは長く続かないと思います。光が射すよう先生方、卒業生の皆さん、在校生の皆さんのご活躍を陰ながら応援しています。

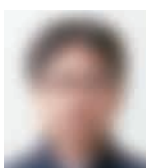


5年間ありがとうございました
宮本 翔渡

皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方や先生方も今日まで本当にお世話になりました。私の頭の中のお花畑には金柑の花が咲き乱れています。

長岡高専に入学してから5回目の冬を迎え、いま振り返るととても長かったなと思います。もちろん良い意味ですし、私はこの学校に入学して本当に良かったなと思っています。当初は寮生活や新しい人たちとの関わり、きつい部活動やテスト勉強など、最初こそは辛く大変でしたが今となってはとても良い経験です。進級し、2～3個下の後輩達が入学してきた頃は友人と色んな事に挑戦したり、インターンシップに行き自分の将来について考え直したり、海外研修では文化や言語の異なる人たちとの意思疎通の難しさと自分の力不足など沢山のことを学びました。そして、コロナ禍の中オンライン授業と研究を中心とした忙しい日々を今日まで過ごしてきました。自粛期間中の経験は自分自身の生活を見直すきっかけにもなり、研究はこれから生活していく上でとても貴重な経験となったと思います。また、学校の行事を通じて仲間と沢山の思い出を作ることができました。

高専で関わった方、お世話になった方々、全ての皆様に感謝申し上げます。



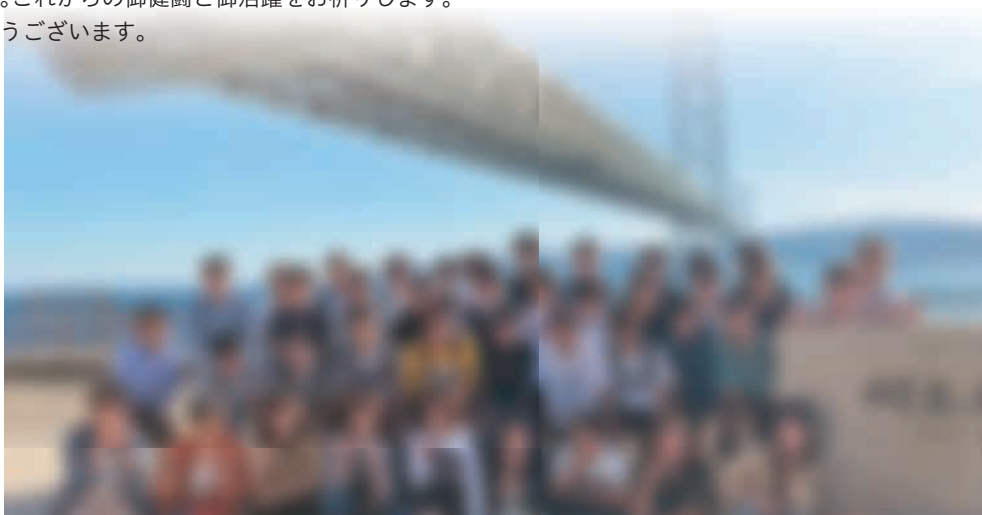
最後の話題
3～5学年クラス担任 陽田 修

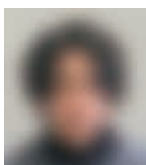
皆さんに初めて話をしたホームルームでの緊張を今でも覚えています。その理由は、初めてのクラス担任ということはもちろんですが、皆さんの鋭い視線が全て私に向けられたからです。3年間をとおして今でも変わらないクラスの印象は「真面目なクラス」です。講義、行事、研究に真摯に取り組む姿勢、そして、5年生になっても私の話に真剣に耳を傾けてくれる姿勢がとてもうれしかったです（聞き流している時もあったと思いますが）。同世代の子供を持つ私はいつい説教じみた話をしてしまいましたが、最後にもう一つオヤジのうざい話を聞いてください。「背伸びもいつかは身の丈になる」という言葉です。自分の能力じゃまだ無理とか早いとか感じて「背伸び」をして挑戦してみてください。足がつりそうな辛い時もあると思いますが「背伸び」を続けることでいつか「身の丈」になる時がきます。判断に迷った時は大変な道を選択してみてください。自分自身の成長と周囲からの信頼、そして新鮮で初めての景色を見ることができると思います。これからの御健闘と御活躍をお祈りします。卒業おめでとうございます。



卒業おめでとう
2学年クラス担任 新井 好司

もう卒業か、というのが率直な感想です。特にこの慌しい1年間の状況では、余計にそう感じるのかもしれませんが、例年とは極めて異なる難しい状況で、卒研を行い、進路も決めなければいけなかったわけですから、大変な事だったと思います。ただ、これから長い人生では、予想もできない様な困難な状況に出くわす事が今後もあるでしょう。そのような状況にあっても、折れることなく前に進むことのできる柔軟性を身に付けてください。勉強や経験で学んだことに無駄な物はひとつもありません。無駄にするかどうかは、その人自身の問題であり、勉強や経験が無駄なわけではありません。今後、困難な状況でも、自分が学んだことを生かして、進んでください。学校を卒業しても、学ぶべきこと、学べることは無限にあります。卒業して、これで終わりではなく、多くのことに好奇心・向学心を持って、今後の人生が実りあるものになることを祈っています。最後に、卒業おめでとう。





さようなら長岡高専

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）

山崎 海登

長岡高専に入学し、7年間の経ち、入学当初は15歳だった自分も22歳になりました。この7年間の感じ方は人それぞれだと思いますが、個人的にはあっという間な感覚でした。

本科に入学したての頃は慣れない環境で課題に追われる毎日でしたが、友人や周りの人にも恵まれ充実した日々を送ることができました。5年生からは研究室に配属され本格的な研究生生活が始まりました。先輩方から実験方法を一から教えて頂き、時には議論を交わしながら研究を遂行していき、その生活がとても心地よく充実したことから専攻科進学を決めました。専攻科へ進学してからその姿勢は変わらず、精力的に実験を行っていき、充実した日々を過ごしました。

最後になりましたが、研究生生活で大変お世話になった井山先生をはじめ、これまでの高専生活において多くのご指導をいただいた先生方、機械工学科と専攻科の間には大変お世話になりました。感謝してもしきれません。この大切な時間を長岡高専で過ごすことができ、本当に幸でした。



第20回 長岡工業高等専門学校 専攻科
特別研究発表会



高専生活を振り返って

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）

藤島 睦

振り返ってみると高専に入学してから7年という時間が経っている事に改めて驚きます。入学した当初はこんな山奥に5年間も通うのかと不安に思っていました。今では家の次に居心地がいい場所となっており、2年間延長してしまいました。本科の時には部活動と学業の両立に四苦八苦し、専攻科に入ってから研究に追われる日々と、あっという間の7年間を過ごさせて頂きました。そんな生活の中で部活動の全国大会や学会発表など、

たくさん学外に出る機会を頂けたことも大きな財産となったと感じています。その度に刺激を受け、また改めて長岡高専の素晴らしさを感じる事ができました。今年は簡単に学外に出られる状況ではなくなってしまい、オンラインで授業を受けたり学会に参加したりと大変なことも多くありましたが、その分今まで当たり前にできていたことのありがたみを感じる一年でもありました。

高専では数えきれない程、たくさんの事を学ばせて頂きました。卒業しても高専で学んできたことを生かしていけたらと思います。

最後にこれまで支えてくれた先生方、そして多くの人たちに心から感謝を伝えたいです。



第25回高専シンポジウム in Kurume



見てください！俺の！変身！

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）

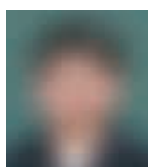
高島 孝太

僕が高専に入学した年にSTAP細胞のニュースがありました。多くの先生方が、STAP細胞を例にレポートの書き方・データのまとめかたの重要性を説明されていたのを思い出します。あれから7年。おもしろいニュースとして友人と笑っていたのが、研究などを通して他人事ではなくなり「キチンと実験記録や報告書を書かないと大変なことになるぞ」と見え方が変わりました。小さな事ですが自分も多少は成長できているかな？と感じました。成長といえば、僕はロボ部に在籍しロボコンに参加してきました。また、ロボコンで学んだ知識を使って5年生の時「拾壺・ビッグストーン」という会社をロボコンの仲間らと一緒に立ち上げました。高専在学中の起業は我々が全国初とのことで僕の数少ない誇れるポイントだと思います。

今この文章を執筆している段階できちんと「さよなら」できているか分かりませんが、無事さよならできれば大学院に進学します。そこでも一生懸命勉強してさらなる成長をお世話になった方々にお見せしたいと思います。友人、先生方に恵まれて大きく成長できた感謝の7年でした。ありがとうございました。



専攻科特別研究発表会で優秀賞受賞



高専での7年間を振り返って

物質工学専攻（物質工学科出身）

長谷川 輝

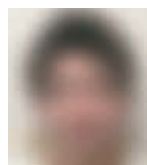
私が長岡高専に入学してから7年、早くも今まで歩んできた人生の3分の1が経過しましたが、入学当初の期待と不安が入り混じった気持ちは今でも鮮明に覚えています。この7年間で私は、友人や研究室メンバーと学園祭で露店を出店したり、研究室では研究が上手くいかず徹夜したり、起業セミナーや様々なイベントに参加したり畑を耕したり…多くの良い思い出を残すことができ、それらから学び・刺激を受けてきました。特に、入学時から努力を重ねていた英語が向上したことや、3年間の研究活動で英語での発表を経験したことや、資料作成能力・思考力を養い、研究を最後までやり抜けたことは自分にとって大きな糧となっています。



リーンローンチパッドプログラム発表会にて

高専最後の年はコロナウイルスの流行によって過去6年間とは全く違った生活スタイルとなりましたが、これだけ充実した日々を送れたのは多くの人との出会いや良き友人達に恵まれたからであり、7年前に長岡高専を選んだのは間違いではなかったと感じています。

最後になりますが私が在学中、大きく成長できたのは友人達、そしてご指導いただいた多くの先生方のおかげです。本当にありがとうございました。



高専だからできたこと

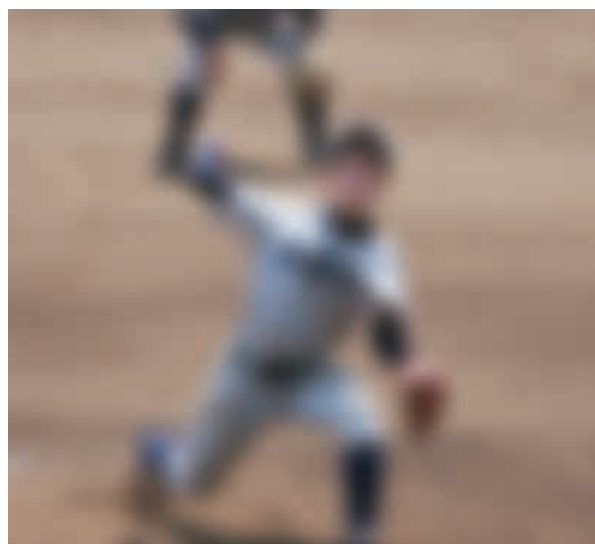
環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）

滝澤 一輝

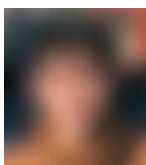
高専を選んでくれた中学生時代の自分には本当に感謝しています。そのくらい高専生活は実りあるものでした。高専は他の学校ではできないようなことをたくさん経験できる学校です。私は野球部に所属していました。3年生の夏大会で負けた後も同じメンバーで高専大会という新たな目標に向かって進むことは高専ならではのだったと思いますし、そこで全国大会の表彰台に上がったことは今でも良い思い出です。専攻科に入ってから、長期学外実習がしやすい環境が用意されていて、それを利用して3ヶ月間のカナダ留学が出来たことも、本当に貴重な経験でしたし、楽しかったです。本科5年から3年間続けた研究では、はじめは今まで経験のないことの連続でたくさん苦しましましたが、最後には納得のいく成果が出て本当に達成感がありました。成人を迎える前から本格的な研究を行うことができるのも高専ならではのですし、そのおかげで沢山の知識やスキルが身に付いたと感じています。

これからは社会人になりますが、長岡高専に7年間お世話になった恩を、社会での活躍といった形で返していけたらと思います。

支えてくださった先生、職員の皆様、長い間本当にありがとうございました。



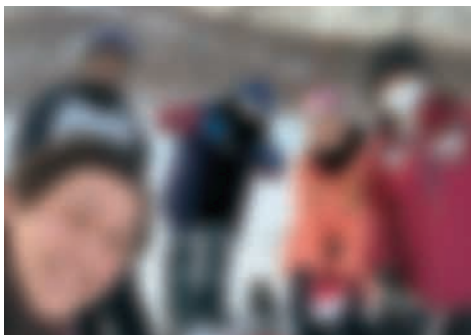
高専大会 硬式野球部



さらば、ありがとうNIT, Nagaoka Col. 
機械工学科／国籍：マレーシア
ムハマド シャフィク ビン ガザリ (シャフィク)

日本で留学することは私の夢の一つでした。中学校から、日本の技術や文化に興味を持ち、ずっと憧れている日本に行きたいという願いがありました。高校を卒業して奨学金をもらった後、そんな願いが叶い、私は平成30年4月に来日しました。奇跡が起こったような気がしました。最初高専に来たばかりの頃は、生活も勉強も分からないことだらけで本当に心配でした。さらに、5年生の時は新型コロナウイルスの感染拡大や、病気で入院したことで、今までで一番大変な一年でした。しかし、そんな時にいつも助けて下さった温かい心の担任の先生を始め、優しい先生方やチューター、出来た仲間達と高専の皆さんがいたおかげで私はここまでやって来られたと思います。これは長岡高専に来て一番良かったことだと思います。そして、今思うと長岡高専での3年間はあっという間のように感じます。春には桜、秋には紅葉、冬には雪、あとスノーボード、今まで体験したことのない経験ができました。最高の3年間でした。

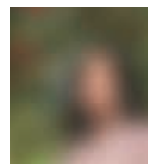
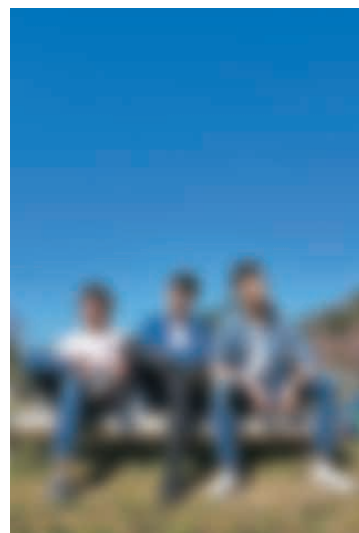
最後に、長岡高専の皆様、色々お世話になりました。皆に心から感謝しています。本校のこと、皆のことを一生忘れることなく、学んだことを活かしてこれから新たな道を歩む方へ、誇りを持って頑張っていきたいと思います。皆、どうも有難う御座いました。また会いましょう。



1/51の奇跡 
電気電子システム工学科／国籍：モンゴル
バヤルバト ノムンバヤスガラント (ノムハ)

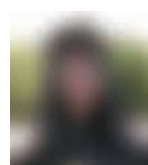
私のように奨学金を受ける留学生の場合、どこの高専に留学できるかを国の機関が決めるため、私たちにはわかりません。大きな希望とともにこの不安も抱きながら皆きます。その中で長岡高専に編入学できたことは奇跡でした。3年間に学んだ今だからこそ言えますが、ここで本当に多くの素晴らしい人達と出会い、感化され成長した自分がいます。ゆりかごのような場所で、やさしく見守ってくれる学校があるおかげでおそれず全力で色々なチャレンジができました。その反面、自分のせいで学校や寮の皆さんに人一倍世話を焼かせてしまいました。長岡で出会えた友達とついつい腹いっぱい食べてしまう美味し

いお米のおかげで寂しい日々を過ごしたことは一度もありません。今年は学園祭等のイベントが開催されず、あまり学校で過ごす時間が少なかったのが心残りですが、長岡の奇跡である長岡花火を見に何度でもくるつもりです。喜びで満ちた3年間に心から感謝いたします。また会う時まで。



ZERO O' CLOCK 
電気電子システム工学科／国籍：モンゴル
プレブスレン ノミン (ノミン)

事前の私は自分が日本に留学することになると想像もしなかったのに長岡高専に来てもう3年間です。今思えばこの3年間で本当にあっという間に過ぎたように感じます。求めるのが難しいかもしれないが、人間は一人で全ての問題を解決することができず、そして何かができなかった時に自分を狭く感じると私が思うんです。だからこそ、日本にきてわからないことだらけで狭くなっていた私の世界をまた広々と広げてくれる優しい先生の方々、チューターの二人、クラスみんなに会えたことを幸運に思います。そして、学校から留学生に向けて次々と活動を行ってくれたおかげで多文化の留学生同士でも円滑に過ごし、多くのことが知ることができました。以前は当然だったことが夢うつつみたになった今年は学校で仲間たちと過ごす時間が少なくて残念ですが、この3年間で忘れられない思い出をいっぱい作ることができました。これからの夢への道を歩きながら、つまづき、倒れるかもしれないが、そんな時こそ、高専で学んだことを活かして頑張ろうと思います。毎日00:00になると全てが新しくなるように、皆さんも高専での生活に続いてくる新しい日々を楽しんでください。長岡高専の皆さんに心から感謝しております。

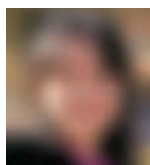


新潟の海と空と 
電子制御工学科／国籍：モンゴル
オドンチメド ソドタウィラン (ソドー)

私にとって、高専の3年間はたくさんの冒険に満ちたものでした。始まりは、校内の2階と3階で迷うところでした。しかし、はじめからチューターの助けがあったおかげで、その問題を突破しました。その次にやってきたのは試験という山です。この時も、その後も先輩のブライさんが助けてくれました。冒険はまだ続きます。その後に立ち上がったのは大きな海です。ここからは長い

旅が始まります。私は同期のノムハ君と矢野先生のプレラボに参加していました。そこでチャレンジした内容は、例のアナログメータ認識のアルゴリズムです。開発に没頭する日々が導いた先は、たくさんの大会へのチャレンジと大きな成長でした。そして、次第に理解してきたことは、自分達の努力は本当に誰かのためになれるということです。この思いが形になった場所が長岡高専だったと思います。

今振り返るとたくさんの人たちに感謝しなければならないうつづく思います。四季折々の思い出はまた今度にしようと思います。新潟の海と空と、そこから始まった冒険はまだまだ青くこれからも続きます。



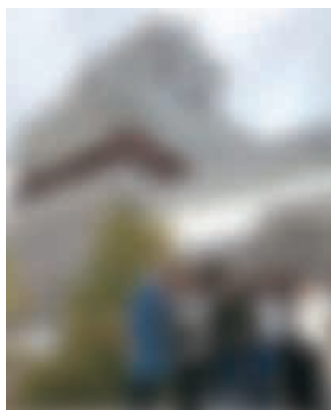
高専の思い出

物質工学科／国籍：マレーシア



ガン ジア ウェイ（ジアウェイ）

長岡高専に入学してから3年が経ち、様々な経験を積み、人として成長して強くなったことが嬉しいです。初めて日本に来たときは、日本語が聞き取れなくて、とても不安な思いをしました。日本語が上手になれるように、たくさんの友達を作るように努力しました。友達から、色々教えてもらい、楽しい学校生活を送ることができました。私は長岡高専で日本人だけではなく、留学生の先輩たち、短期留学生とも仲良くなりました。交流会をやったり、一緒に食事をしたり、楽しいことをしたりして、いい思い出を作りました。友達とは、家族ほどとは言えないまでも、健康と同じくらい大切なものです。出会った人々と友情を育むことは、人生を実りあるものにします。楽しいときに喜びを分かち合い、辛いときに苦しみを和らげ合うので、友達は人生の宝物です。人生は、満開の桜のように美しく短いです。後悔をしたくないために、人生に訪れる人々を大切にしていきたいです。今、周りにいる人との出会いがこの3年間の一番の宝物で、長岡高専に来てよかったと思える唯一の理由です。最後



に、担任の田崎先生、研究指導教員の村上先生、日本語の松田先生、チューター、研究室の先輩たちとクラスメートの皆さん、3年間お世話になりました。今までいつも面倒を見てくれてありがとうございます。卒業してもみんなへの感謝の気持ちを忘れません。



一段

環境都市工学科／国籍：モンゴル



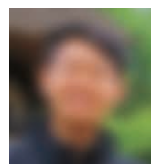
ツォグト バダムサムボー（バドウシ）

長岡工業高等専門学校に来てあっという間にもう3年間です。自分のことについて色々学んだ3

年間でした。人にできないことが多いから周りからできないことを聴くのが全然恥ずかしくないということがわかりました。

長岡高専に初めて来た時は色々わからないことがあって、たくさんの人に手伝ってもらいました。いつもいいアドバイスをしてくれる担任の先生、素晴らしい学科の先生方、いつもいい友達になってくれたチューター、面白いクラスメート、優しい寮事務のみんな、どうしても手伝ってくれるという気持ちがみえている企画室のみんな、面白さが終わらない日本語の先生、みんなに心から感謝しております。長岡高専での3年間を安全で楽しくしてくれて誠にありがとうございました。みんなより、自分のやることを心からすると相手の心にも感動させることができるということがよく分かりました。

長岡高専で、これからいつでもずっと話して行くいい思い出をできました。夢へもう一段を近づけてくれたみんなのことをいつでも忘れません。



コマったお！

電子機械システム工学専攻科／国籍：ベトナム



ファム ザ タオ（タオ）

長岡高専に5年間お世話になりました。素晴らしい友と出会い、自分を成長させてくれた高専にとっても感謝しています。

本科3年生での前期中間テストの結果は半分以上が赤点でした。「タオ君、このままだと留年しちゃうよ。頑張って」、「放課後、先生と一緒に勉強しよう」などと温かい声をかけてくださったのが担任の島宗先生やクラスメートでした。私は「留学生だから」などと言い訳せず、必死に勉強しました。それからテストの点数も日本語コミュニケーション能力もだんだん良くなり、自信が付けました。本科5年生のとき、大学へは編入せずに専攻科に進学することにしました。矢野ラボでは毎日有意義な学生生活を送ることができました。いつも私のことを理解してくれた矢野先生やラボメンバーのみなさん、ありがとうございました。国内外でのSDGsへの参加、ロータリー奨学生としての活動、日本の一流企業からの内定など、これらも全て長岡高専のおかげだと思います。

修了後は長岡から離れますが、高志台、東山、信濃川、長岡高専、絶対に忘れません。





優劣の彼方に在るもの

一般教育科

福田 昇

昨年からコロナウイルスで休講が続き、長岡高専では部活動、文化祭、スキー教室など、様々なことが中止となりました。みなさんのご家庭では家族との旅行を楽しんだり、ゆっくりと正月気分を味わったりといった生活を過ごすこともできなかったと思います。今も閉塞感のある状況が続いていますが、これまでの日常生活を取り戻すためにみなさん我慢し頑張っています。私は長岡高専を含めて33年間ほど教職に携わってきました。でも、授業で心がけてきたことはたった一つだけでした。それは、「優か劣か、いわゆる勉強ができる学生なのかできない学生なのか。そんなことではなく、教師も学生も学ぶことや教えることを楽しめる時間。そんな時間を授業の中で少しでもいいから互いに自然に実感できる瞬間が作れる」授業設計をする。しかしながら、現実の授業は自分の理想とはかけ離れ、なかなか手厳しいものでした。今さらですが授業を振り返ってみると、そういった時間がほんの少しだけ作れた授業があったことが自分の教員生活を支えてきた気がします。学ぶことを楽しんでいる学生の姿は、私にとって目には見えない抽象的な言葉でひとり歩きをしている「教育」という姿が、確かに今頭在していると感じさせてくれるものでした。私はこの3月で長岡高専を退職いたします。これまで様々な授業の場面で学ぶ機会を与えてくれた学生の皆様、職務上の様々な場面でサポートしていただいた同僚の教員、および事務職員の皆様に心よりお礼申し上げます、感謝の言葉とさせていただきます。

お悔やみ

本校の新型コロナウイルス感染症対応等においても陣頭指揮に当たられました鈴木秀樹事務部長が去る7月7日に逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げるとともに、故人のご冥福を心よりお祈りいたします。

PICK UP 2020

T O P I C S

1 フラー株式会社との協働によるオンラインでの実践的プログラミング講義を開始 (2020.05.28)

アントレプレナー教育プログラムの一環として、本校と包括的連携協定を締結しているフルー株式会社との協働による実践的プログラミング講座のプレラボ活動を開始しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のためにWeb会議ツール「Zoom」とコミュニケーションツール「Slack」を活用した遠隔授業での実施となりました。5月26日(火)に第1回の活動が実施され、本科1年生から専攻科1年生まで学科学年を横断して20名の学生が参加しました。

2 DCON本選で2チームが活躍 (2020.08.25)

DCONは高専生のもつ「ものづくりの技術」と人工知能の研究分野で大きな成果をあげている「ディープラーニング」をかけ合わせた作品に対する事業性を競うコンテストです。8月22日(土)に第1回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2020(DCON2020)本選が開催され、長岡高専から出場した2チームが4位と9位を獲得、うち1チームは企業賞も受賞しました。

3 信州未来アプリコンテストZEROにて信州大学長賞受賞! (2020.11.05)

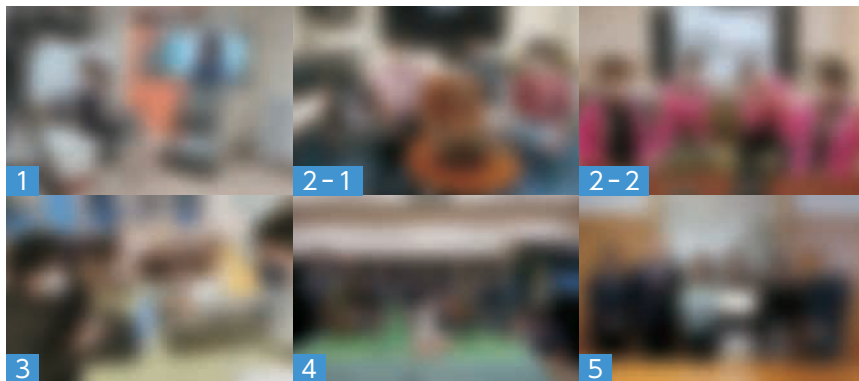
11月3日(火)にオンラインで信州未来アプリコンテストZEROが開催されました。長岡高専からは、電気電子システム工学科と機械工学科からなる2年生チームが参加し、信州大学長賞を受賞しました。

4 NHK高専ロボコン2020全国大会に本校ロボティクス部が出場! (2020.12.18)

11月29日(日)、NHK高専ロボコン2020全国大会に、本校ロボティクス部のAチーム:connection(コネクション)が出場しました。今年は、人々をハッピーにできるロボットとパフォーマンスを自由なテーマで表現するという競技ルールの下、オンラインでの開催となりました。結果は惜しくも決勝ラウンドへの進出はできませんでしたが、協賛企業からの特別賞をいただくことができました。

5 「地方創生☆政策アイデアコンテスト」最終審査会で優秀賞&JTB賞を受賞! (2021.01.29)

12月19日(土)にオンラインで開催された内閣府地方創生推進室主催、経済産業省共催「地方創生☆政策アイデアコンテスト」の全国大会である最終審査会に物質工学科2年のナパット・チャルーンナパーラットさん(呼称:ボーさん、タイからの留学生)と山口ひよりさんが関東地方代表として参加しました。2人が提案した政策アイデア「EAT SAKANA SET」が高校生・中学生以下の部で約1300組以上のエントリーを勝ち抜き、優秀賞を受賞、そして協賛企業賞としてJTB賞に輝きました。



本校における新型コロナウイルス感染症への対応を振り返って

学 習

雲外に蒼天あり

副校長（教務主事） 田中 聡

2020年は、想定とは異なる意味で歴史的な年になりました。コロナ禍のなかで、私たち一人ひとりが試された一年だったようにも思われます。

私自身、人事異動を伴う年度替わりの時期に前例のない対応を求められ、困惑の日々が続きしました。正解がない中での方針決定の難しさ。一度決定した方針を変更することの難しさ。高校でも大学でもない、高専の特性（幅広い年齢層の学生、広い通学圏、学生寮、留学生、実験・実習の問題等）に応じた判断の難しさ、等々。

皆さんも不安な日々が続いたと思います。5月14日には遠隔授業がスタートしましたが、必ずしも十分な準備期間があったわけではなく、戸惑うことが多かったと思います。特に新入生の皆さんは大変な思いをしたことでしょう。しかし、遠隔授業の手法を獲得できたことは間違いなく大き

な成果でしたし、難しい場面をみんなで乗り越えたことも自信にしていきたいと思います。

不確実な時代と言われる昨今。これからさまざまな試験が私たちを待ち受けていることですが、今回の経験を活かしつつ、皆さんと手を携え、ともに乗り越え、成長していきたいと思っています。これまで同様、これからもよろしくお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う就学体制の変遷

4月～5月上旬の対応 ～「命を守る」「学びを止めない」～

1. 授業開始の延期、登校禁止の決定
2. 遠隔授業の実施に向けた検討・準備
3. 学習課題の送付（4/15）

5月中旬以降の対応 ～「新しい生活様式の徹底」「登校機会の段階的拡大」～

1. Microsoft365等設定作業のための分散登校（5/11～5/13）
2. Teamsを活用したオンデマンド型の遠隔授業を開始（5/14～）
3. 遠隔授業を基本としつつ、実験・実習科目で面接授業を開始（6/1～）
卒業研究・特別研究に係る研究室活動の再開（ 〃 ）
4. 1～3年の授業を面接授業として実施（7/13～）
5. 全学年の授業を面接授業として実施（10/2～）

学生生活

辛抱が飛躍の糧となることを願って

校長補佐（学生主事） 猪平 直人

教員と学生が顔を合わせる機会もなかった今年度前期の状況は、学生にも教職員にも大きなストレスであり、文字通り「辛抱」の年となりました。

高専体育大会も中止となる中、本校の課外活動は面接授業実施を目安とし、7月13日1～3年面接授業開始後から、段階的に再開しました。何かと制約のある中、対外的な様々な代替大会、遠隔開催された各種コンテストなどで、学生たちは時に目を見張る活躍を見せてくれました。また10月1日の後期開始時には、ようやく学生会総会を開

できましたが、各教室で放送により実施という異例の予算案承認となりました。各種イベントも含め、学生同士の生きた交流が生命線となる学生会活動は、遠隔で代替可能かどうか？ 新型コロナはそんな新たな課題も提示したように思います。多くの会議の開催が困難となり、学生会の意思決定も困難を極めた1年でした。

本校に対しては、多くの団体、個人の方々にご支援をいただき、誠に感謝に堪えません。吉乃川(株)様からは消毒液をご寄贈いただきました。また後援会、同窓会にも色々ご協力いただき、本校独自の給付金制度や、学生寮Wifi機器設置などの学生生活支援を実施することができました。その他様々な団体や個人の皆様を含め、本校を支援してくださった方々に厚く御礼申し上げます。

学生寮

寮の感染症対策について

校長補佐（寮務主事） 市村 勝己

令和2年度は世界的な感染症拡大で本校もその対応を余儀なくされました。特に初期段階においては政府同様、寮運営も右往左往しました。表は寮での感染症対策や実施イベントを示したものです。今回の対応にあたり、寮としては「うつさない・うつらない」を合言葉に寮友会と共に進めてきました。3月6日の閉寮時点において、寮内での新型コロナウイルス感染報告はありませんでした。一方で、点呼方法が各館・階で異なる、廊下でマスク着用してい

ない寮生が目立つ、飛沫防止フィルムを定期交換しないと不衛生等の指摘も挙がっています。今後も安心・



学生寮における主な感染症対応

- 4月：寮友会幹部による開寮準備するも授業開始延期で開寮日からわずか2日で閉寮。寮内での感染者対応を保健所に相談しフローチャート作成。
- 5月：一部開寮し県外在寮生が入寮。
- 6月：全室個室対応の為の再入寮選考の実施を寮生保護者へ連絡。入寮選考で落ちた寮生の受け皿としての市営住宅を長岡市に相談。再入寮選考を実施せずにカーテンを設置し複数部屋の個室化による対応に切替。
- 7月：全面開寮に伴い食堂の座席を減らし対面を避ける配置に変更。新一年生への生活指導（入浴の仕方、入室方法）を寮友会幹部が工夫し動画作成。点呼の工夫、アルバイト禁止、入浴時間ゾーン化、他者の居室で密にならない、寮事務室入室方法変更等の特別ルールを設定。
- 12月：食堂テーブルに食品用ラップフィルムで飛沫感染防止対策（添付写真は試験的に一部の座席に設置した時の様子）。寮生総会第一回を館内一斉放送で実施。

安全な寮生活が送れるよう寮務関係者と寮友会で協力し改善を重ねていきたいと思います。感染症が終息するまでもうしばらくは息苦しい寮生活になろうかと思いますが、寮生の皆さんの理解と協力を引き続きお願いします。

卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰

長岡高専の学則に定める賞

特別表彰

物質工学専攻 長谷川 輝
環境都市工学専攻 南 海渡

功労賞

電気電子システム工学科 大井 孝晟
電子制御工学科 オドンチメド ソドタウィラン
電気電子システム工学科 バヤルバト ノムンパスガラン

電子制御工学科
物質工学科

皆勤賞

機械工学科
機械工学科
電気電子システム工学科
物質工学科
物質工学科
物質工学科

大月 一摩
恩田詩緒梨

久保 諒介
宮島 涼太
佐渡ひより
江平 希
恩田詩緒梨
小山竜之介

物質工学科
物質工学科
物質工学科
環境都市工学科
環境都市工学科
環境都市工学科
環境都市工学科

寺尾 紫都
羽鳥 奨真
星 健史郎
吉田 健
磯野 柊二
進藤 友紀
星野 由
宮 翼

各種学会賞等

令和2年度 日本機械学会畠山賞	機械工学科	永井 泰稀
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	寺尾 紫都
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	ガン ジア ウェイ
令和2年度 土木学会全国大会 第75回年次学術講演会優秀講演賞	環境都市工学科	星野 由
令和2年度 全国高専土木学会 近藤賞	環境都市工学科	星野 由
電子情報通信学会信越支部学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	木村 里輝
電子情報通信学会信越支部学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	高島 孝太
土木学会関東支部新潟会 第38回研究調査発表会優秀講演者表彰 土屋雷蔵賞	環境都市工学専攻	井崎 茜

同窓会長賞

プレラボ活動

電気電子システム工学科 バヤルバト ノムンパスガラン
電子制御工学科 オドンチメド ソドタウィラン

バドミントン部

電子制御工学科 大月 一摩

水泳部

電気電子システム工学科 伊藤 優樹
電気電子システム工学科 栗林 新
環境都市工学科 進藤 友紀
環境都市工学科 木歩士碧海



進路状況 (令和3年3月現在)

学科

学 科	区 分	卒業者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県 内	県 外		
機械工学科		34	23	10	5	5	1
電気電子システム工学科		40	17	18	8	10	5
電子制御工学科		34	31	3	2	1	0
物質工学科		39	28	10	0	10	1
環境都市工学科		39	24	12	8	4	3
計		186	123	53	23	30	10

専攻科

専 攻	区 分	修了者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県 内	県 外		
電子機械システム工学専攻		28	7	21	9	12	0
物質工学専攻		8	0	8	0	8	0
環境都市工学専攻		13	5	8	0	8	0
計		49	12	37	9	28	0

高志台さくら基金のお知らせ

長岡高専の学生の教育研究に関する活動の支援を行います。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

●学生への支援内容 教育研究活動、奨学金の給付、課外活動、就職活動、海外研修、国際交流、社会貢献活動、学習環境整備 など

●令和元年度受入実績 217件 3,698,000円

●税法上の優遇措置 個人の方は所得税・住民税控除が受けられます。法人の方は全額損金に算入できます。

【基金ホームページ】 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/kikin/>

【お問い合わせ先】 長岡工業高等専門学校総務課総務係

T E L : 0258-34-9311

E-mail : kikin@nagaoka-ct.ac.jp



ホームページQRコード